

令和4(2022)年度 指定管理者制度導入施設 管理運営評価結果書

施設名称	平成記念郡山こどものもり公園		施設区分	施設管理型			
施設所在地	郡山市富久山町福原字90番110 外		指定管理者	公益財団法人郡山市文化・学び振興公社			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日		施設所管部課	都市構想部公園緑地課			
評価項目	評価基準	配点(標準点)	指定管理者自己評価	自己評価コメント	市評価	市評価コメント	特記事項
I 市民の平等な利用の確保							
1	平等利用	市民の利用にあたり、公平であるか。(例：使用許可、使用料等の減免、利用の制限等)	2(1)	2	条例・規則に基づき、公平・平等な取り扱いを行った。申請が必要なものについては丁寧に説明した。	1	利用料金の案内等、適切に行っていた。
2	危機管理、事故・災害等への対策・対応	事故・災害発生時又は危険予測時の対策・対応が行われているか。(例：マニュアル整備、訓練等)	2(1)	2	BCP(業務継続計画)、施設管理要綱を策定している。危機管理マニュアルを運用している。警報が出た際は、館内及び園内を巡回し危険箇所の確認を行っている。消防訓練を2回実施した。	2	
小計			4	4		3	
II 施設の効用の最大限の発揮							
3	管理運営方針	市が示している管理運営方針及び仕様書に合致した、施設の管理運営がなされているか。	4(3)	4	管理運営に当たっては市の方針及び仕様書に則り、適切に行った。新型コロナウイルス感染症ガイドラインの運用をしている。BPC、施設管理要綱、情報セキュリティ要綱、施設の換気対策を策定して運用している。	3	管理運営方針及び仕様書に基づき、概ね水準通りの管理運営を行っていた。
4	事業実施状況	計画どおり事業が実施されているか。サービス向上の取り組みがなされているか。	4(3)	3		3	
5	広報・PRの実施	利用促進のための取り組みを実施しているか。(例：事業の開催案内、ホームページの管理等)	4(3)	4	ウェブサイトにより施設情報を発信した。事業開催時には、ポスター・チラシの他、市の広報誌により周知を図った。公社内の施設にもポスター掲示を行った。ウェブサイトのアクセス数は公社内でも共有し、広報の充実を図っている。男性用トイレにサンタリーボックスを設置したことや、公園利用時の注意喚起等もウェブサイトやポスターで発信した。	3	ポスターの設置数を増やすなど、利用促進のための取り組みがあった。
6	接客態度	言葉づかい、態度、電話対応、名札、服装等は適切か。	4(3)	4	常日頃から名札着用を徹底し、適切な言葉づかいや態度を心がけて、受付・電話対応等に当たった。	3	職員の勤務態度への苦情は見られなかった。
7	苦情・要望の把握・対応	利用者からの意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。(記録簿整備を含む。)特に重要な事案については、遅滞なく市へ報告しているか。	4(3)	3		3	
8	市、関係機関、類似施設、地元等との連携	市、他の指定管理者、関係機関、類似施設、周辺施設、地元等との連携を図っているか。(例：施設間の回遊・相互利用、地元とのタイアップ、積極性 等)	4(3)	3		3	
9	利用者アンケートへの対応状況	利用者アンケートによる指摘のうち、改善すべき事項について対応を図っているか。	3(2)	3	改善すべき事項について、速やかに対応し、可能な限り改善を図った。 ①男子トイレにサンタリーボックスを設置。 ②酷暑時の遊具使用について注意喚起を表示。 ③竹とんぼなど子供用の玩具の設置。 ④カブトムシの幼虫など冬越しする昆虫のための施設を設置した。 ⑤第2駐車場の法面に亀裂ができた際にはシートを敷設して、被害拡大を防止して崩落を防いだ。 ⑥毒キノコの注意喚起のポスターを作成し、掲示した。	3	
小計			27	24		21	
III 管理経費の縮減							
10	帳簿管理・経理	帳簿等は適正に管理されているか。契約にあたり、適正な経費算定(積算)が行われたか。業務委託や修繕について適正な監督、検収が行われたか。	5(3)	5	当社規程に基づき、厳格に帳簿等を管理した。契約等の業務においても、必要書類を整備し、適正に行った。社外監事による監査、公認会計士による会計指導を受けた。	5	
11	収入確保、支出の適正化等、予算の執行状況	収入確保の取組みを推進しているか。指定管理料を含め、支出が適正に行われたか。	5(3)	5	複数業務の一括発注に努め、支出は適正に行った。利用料金収入があり、収入が確保できた。	5	
小計			10	10		10	

(様式2)

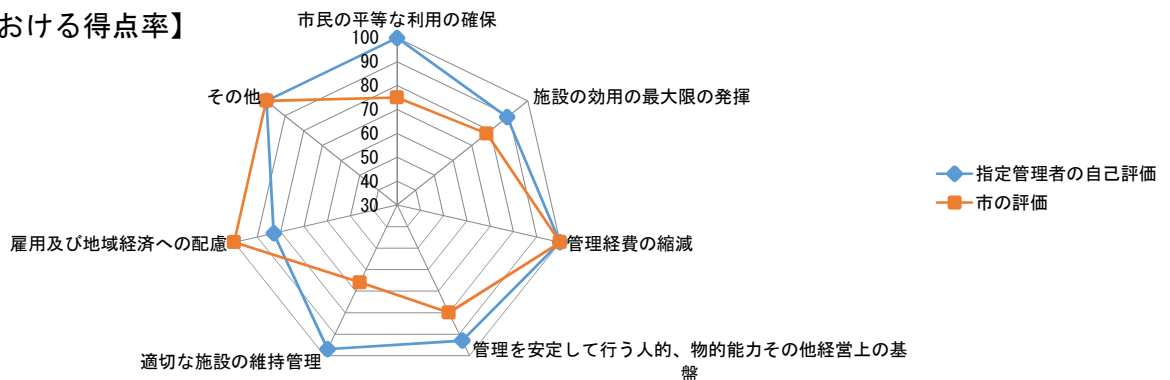
IV 管理を安定して行う人的、物的能力その他経営上の基盤							
12	人員・研修体制	人員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。必要な資格、経験等を有する人員が確保されているか。職員に対し研修を実施しているか。	5(3)	5	資格の有無や経験等踏まえ、他施設と兼務しながら適正な人員配置を行った。遊具の点検講習会や郡山市総合防災訓練に参加し職員の能力向上に努めた。また、樹木区、公園管理士の指導を受けている。コロナ関連休暇を一律で取得可能となっている。	5	
13	収支状況	収支予算書どおりの収支状況となっているか。	5(3)	4	収支状況は概ね良好で、指定管理会計の収支及び他会計繰入金を除いた収支はともに黒字であった。	4	
14	連絡調整	協定書等に従い、市への各種届出、報告、提出、協議、相談等を適切に行っているか。市や地域、関係機関との連携調整を適切に行っているか。	5(3)	5	各種届出、報告、書類提出、協議、相談を適切に行った。また、地域や関係機関との連絡調整も適切に行った。警報が発令された際には被害の有無を確認し、逐一事務局に報告し、管理人とも共有している。	3	災害発生時の速やかな連絡など、市への相談体制は適切であった。
小計			15	14		12	
V 適切な施設の維持管理							
15	施設・設備の保守管理	法定点検が確実に行われているか。施設・設備が適切に利用できるような状態が保持されているか。(修繕を含む。)	12(5~7)	12	法定点検・定期点検を遺漏なく行った。また、修繕等が必要な場合は、可能な限り速やかに実施し、適切な保守管理に努めた。	6	個別の修繕対応は適切に行われていた。今後は年度計画の作成等を求めたい。
16	安全の確保	建物・設備等が安全に利用できるような状態が保持されているか。	5(3)	5	建物・設備等の点検や危険箇所の把握を日常的に行い、安全に利用できるよう努めた。また、リスク対応のため保険に加入した。	3	仕様書や指定申請時の提案内容が適正に実施されており、要求水準を満たしている。
17	清掃・衛生・美観維持	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。市の指定管理施設にふさわしくないチラシやパンフレットの陳列、ポスター掲示等はないか。	5(3)	5	施設清掃、園内除草・清掃、屋外トイレ清掃、廃棄物処理等を計画どおり実施した。また、不適切掲示物等を発見した場合、速やかに撤去した。	3	不適切掲示物等のないよう美観維持に努めていた。
18	備品の管理	備品が適切に管理されているか。	3(2)	3	損傷・滅失することなく、台帳との整合性もとれるように適切に管理した。	3	
19	持ち込み物品等の管理	持ち込み物品等が適切に管理されているか。(例：持ち込み物品等管理簿、表示等)	3(2)	2		2	
20	法令等遵守	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告、手続き等を行っているか。	2(1)	2	関係する法令、条例、規則等を遵守し、必要な点検、報告、手続きを行った。	2	
21	個人情報保護	個人情報保護に関する規定が整備されているか。個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	2(1)	2	当社規程に基づき適切に管理し、情報の漏洩、滅失等の事故防止に努めた。個人情報ハンドブックを整備している。	2	
小計			32	31		21	
VI 雇用及び地域経済への配慮							
22	雇用・労働条件への配慮	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等の順守がなされているか。労働条件への配慮は十分か。	3(2)	3	労働基準法等の労働関係法令、郡山市公契約条例等を遵守した。また、法定を上回る有給休暇の取得ができるような環境づくりに努めた。男性の育児休暇の拡充や、職場環境について必要な事項をまとめた安全衛生管理要項を定めた。コロナやコロナウイルスのワクチン休暇が全職員共通で取得可能となっている。	3	
23	地域経済への配慮	計画通りに市内からの職員採用を行っているか。再委託は計画通り適正に行われているか。市内事業者への再委託を行っているか。	3(2)	2		3	職員及び再委託業者はすべて郡山市内の者である。
小計			6	5		6	
VII その他							
24	活動指標	設定した指標の目標値(開館日、情報発信回数)を達成しているか。	2(1)	2	開館日は107%であった。情報発信は188%で達成できた。	2	
25	成果指標	設定した指標の目標値(施設利用者数)を達成しているか。	2(1)	2	施設利用者数は前年比約120%で、大きく増加した。成果指標の目標値においては約106%で達成できた。	2	
26	指定管理業務への姿勢	積極的な管理運営、市に協力的であるか。地域や民間事業者と円滑な関係を構築しているか。	2(1)	2	市に協力して積極的な管理運営を行った。また、地域や関係団体との円滑な関係構築に努めた。	2	
小計			6	6		6	
合計点			100	94		79	

	実 績					合計
	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	
指定管理料 (千円)	25,395	25,150	25,201	25,454		101,200
利用料金収入 (千円)	0	0	0	22		22
利用者数 (人)	22,629	21,796	21,276	25,486		101,222
二次評価 (市の評価)	A	B ⁺	B ⁺	B ⁺		
備 考	令和2年3月は新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が少なかった。	新型コロナウイルスや福島県沖地震による影響が大きかった。	新型コロナウイルスや福島県沖地震による影響が大きかった。	新型コロナウイルスによる利用者減から回復した。		

サービス向上対策

- ・老朽化した観察デッキを立入禁止として、利用者の安全に配慮した。
- ・カブトムシの幼虫など越冬する昆虫のための設備を設置した。
- ・園路際にある立ち枯れ木で自前で伐採できるものは、危険防止のために伐採した。

【各評価区分における得点率】



【一次評価 (指定管理者による自己評価)】

評価	点数	評価内容
S	94	<p>【総合評価 (評価できる点等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用では、条例や規則に基づき公平・平等な取り扱いを行い、占有により申請が必要な場合は丁寧に説明し、了解を得ることに努め、昨年以上に利用料金収入を確保した。 ・施設・設備等の維持管理では、各種の法定点検を漏れなく実施するとともに日常的な点検を行い、不具合が見つかった箇所は可能な限り修繕等を行った。また、立ち枯れ木などの危険木に関しては、業者委託、自前処理を行って安全対策を実施した。 ・事業は、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら、全ての事業を実施することができた。また、郡山市ふれあい科学館に連携協力して火星の観察会をした。 ・管理経費の縮減は一定程度達成できており、収支状況は概ね良好であった。 ・BCP (事業継続計画) や施設管理要項、情報セキュリティ要項を策定して運用している。 ・労働環境として、コロナ関連休暇の取り決めを行い、一律で取得できるようになっている。 ・外来種カミキリムシ被害の有無の経過観察を行っている。 ・安全衛生委員会の設置や育児休暇拡充など労働環境の改善に努めた。 <p>【次年度に向けて改善が必要な点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響から利用者数は回復傾向にあるが、「新しい生活様式」に対応した施設の運営方法を行いながら、利用者の利便性を向上させて、さらなる利用者の増を図っていく必要がある。

【二次評価 (市による評価)】

評価	点数	評価内容
B ⁺	79	<p>【総合評価 (評価できる点等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・免除対象外の使用団体がリピーター化したことにより、施設利用収入の確保に繋がっている。 ・利用者アンケートの結果の内部共有など、接客態度の改善に努めている。 ・指標の目標値以上の開館を行い、積極的な運営に取り組んでいる。 <p>【次年度に向けて改善を望む点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存手法以外の新たな広報・PR方法を検討してほしい。 ・修繕における年度計画の作成。

【改善のための行動計画】

行動計画
<p>【前年度の指摘事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑木林内の立枯れ木については指定管理の委託費では賅いきれないものがあるので、協議していく必要がある。 ・送電線・高圧線鉄塔など関係する機関と協議が必要なものもあるので、郡山市、公社、関係機関と三者で協議する案件も出てくる。 ・四阿や園路階段が未改修の箇所もあるので引き続き経過観察が必要。 ・木製遊具のハザードに対して、工夫して取り組んでほしい。 <p>【改善対応状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経過観察し、危険木7本を業者に依頼し伐採または処分した。枝葉の切り落としや細い木の伐採は可能な範囲で職員が対応した。 ・送電線にかかる枝木については電力会社と協議して伐採し、引き続き現状を経過観察している。 ・四阿などリスク分担以上かかる修繕については、郡山市へ管轄要求している。 ・注意喚起の表示を遊具に貼り付けた。